



シリーズ  
うさぎのマルコちゃん！

—第3話 ありがとう、よろこびのころ—

協賛 ツカモトグループ

ころ つくろう／作 すえむら ゆうき(高1)／絵



マルコちゃんは、  
もりのしょうどうぶつたちとなかよく、くらしていました。  
いつも、ねずみのふみちゃんをいじめていたどうぶつは、  
くまのくまちゃん、きつねのつねちゃん、たぬきのあべ  
ちゃん、りすのもこちゃん、へびのへびちゃんたちです。



ところが、マルコちゃんにとってもなかのよかったりすのもこちゃんがいじめをしなくなり、ねずみのふみちゃんとなかよくなりました。





ねずみのふみちゃんは、  
マルコちゃんとりすのもこちゃんとなかよくでき、  
「ありがとう」のきもちをことばでつたえ、  
すこし、げんきになりました。



マルコちゃんがよるのほしぞらをながめていると  
よぞらからこえがきこえてきました。  
「マルコちゃん！げんきですか」





マルコちゃん、  
どんなときも、  
ありがとうのかんしゃの  
ころとことばが  
たいせつなのですよ

よぞらがマルコちゃんにいいました。  
「マルコちゃん、どんなときも、  
ありがとうのかんしゃのころとことばがたいせつなのですよ」



マルコちゃんは、  
まえに、ねずみのふみちゃんが  
「ありがとう」といっていたことをおもいだし、  
りすのもこちゃんもいっていたとおもいました。





マルコちゃん、なんに  
でもありがとうという  
ところでいき、  
どんなときでも、いき  
ていることをよろこぶの  
が、ほんとの  
いきかたなんですよ

うちゅうからこえがきこえました。  
「マルコちゃん、なんにでもありがとうというところでいき、  
どんなときでも、いきていることをよろこぶのが、  
ほんとのいきかたなんですよ」と！  
だって、いきているんだもの。